

日本茶インストラクター協会 教育コースのご案内

日本茶インストラクター認定制度とは

近年、日本茶に含まれるいろいろな成分が健康に対して効果・効能をもつことが、多くの研究者によって明らかにされ、社会的にも日本茶への関心が高まっています。「日本茶インストラクター認定制度」は、日本茶と消費者の接点となり、日本茶文化の発展及び日本茶の正しい理解と普及を指導できる者を認定することを目的に、1999年に制定されました。

NPO法人日本茶インストラクター協会とは

NPO法人日本茶インストラクター協会は、日本茶インストラクター認定制度の円滑な推進と、日本茶インストラクターおよび日本茶アドバイザーの育成と認定、その活動支援により、日本茶の普及と歴史ある日本茶文化の継承、そして新たな日本茶文化を創造し、もって広く社会の健康と文化及び教育の向上に寄与することを目的に2002年2月に設立された特定非営利活動法人(NPO法人)です。



NPO法人 日本茶インストラクター協会
<http://www.nihoncha-inst.com>



資格の種類

日本茶検定

認定資格ではなく、もっと気軽に日本茶の知識を試してみたい方のためのインターネット検定。年3回(2月・6月・10月)実施。公式テキスト『日本茶のすべてがわかる本』(発売:農文協)は書店にて販売中。詳しくは協会ホームページをご覧ください。

初級 日本茶アドバイザー

日本茶に対する関心が高く、茶全般の知識及び技術の程度が、消費者の指導・助言や日本茶インストラクターのアシスタントとしての適格性を備えた初級指導者。

《主な活動内容》
販売店での消費者への指導・助言、日本茶教室でのアシスタント、茶関連イベントでの案内役など

中級 日本茶インストラクター

日本茶の全てにわたる知識及び技術の程度が、消費者や初級指導者を指導する適格性を備えた中級指導者。
日本茶アドバイザー資格がなくてもチャレンジできます。

《主な活動内容》
日本茶教室の開催、日本茶カフェプロデュース、学校カルチャースクール等各種講習会講師、通信教育添削講師、日本茶アドバイザーの育成・指導など

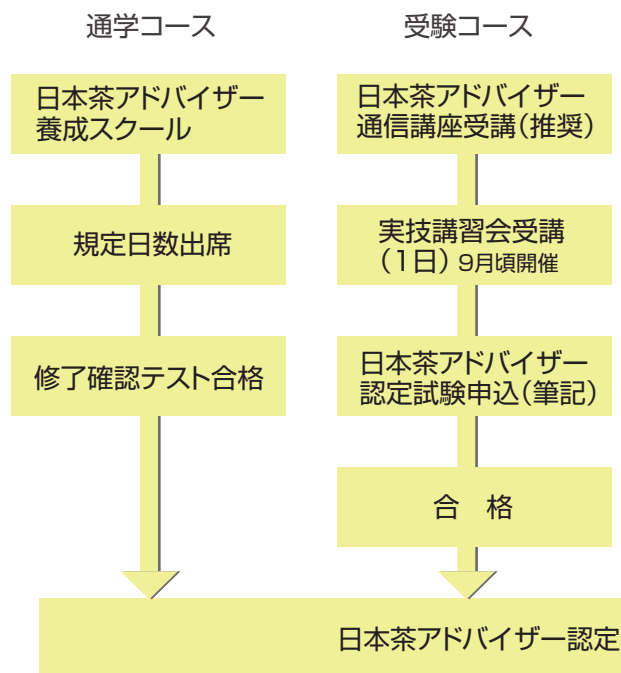
上級 日本茶マスター

日本茶インストラクターとして3年以上の活動と経験を有し、日本茶に関する分野別の専門的知識及び技術の程度が特に優れた上級指導者。

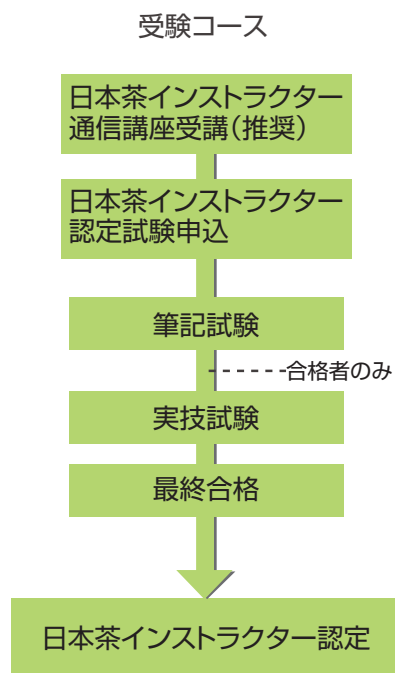
《主な活動内容》
各種研修会・講習会講師、日本茶インストラクターの育成・指導など

資格の取得方法

日本茶アドバイザー



日本茶インストラクター



認定試験概要

※詳細は7月頃発表される試験要項でご確認下さい。

日本茶アドバイザー

- ①試験日 : 11月上旬の日曜日
- ②会場(予定): 札幌、東京、静岡、名古屋、京都、福岡、鹿児島
- ③受験申込 : 8月1日~8月31日(必着)
- ④試験方法 : 筆記試験/マークシートによる○×式
- ⑤筆記試験出題分野:
茶の歴史、茶業のあらまし、茶の栽培と製造、茶の利用、茶の化学、茶の健康科学、茶の品質審査・鑑定、お茶の淹れ方、インストラクション技術
- ⑥受験資格
・翌年3月31日で満18才以上
・日本茶インストラクター協会指定の「実技講習会」受講修了(見込)者

日本茶インストラクター

- ①試験日 : 第一次試験《筆記試験》11月上旬の日曜日
: 第二次試験《実技試験》2月上旬の日曜日
- ②会場(予定): 札幌、東京、静岡、名古屋、京都、福岡、鹿児島
- ③受験申込 : 9月1日~9月30日(必着)
- ④試験方法 : 筆記試験/マークシートによる五肢択一式
: 実技試験/茶鑑定、インストラクション技術
- ⑤筆記試験出題分野: 《10分野》
茶の歴史、茶業概要、茶の栽培、茶の製造、茶の利用、茶の化学、茶の健康科学、茶の品質審査・鑑定、お茶の淹れ方理論、インストラクション技術論
- ⑥受験資格 : 翌年3月31日で満20才以上

通信教育のご案内

日本茶アドバイザー講座(初級コース)

このコースは、日本茶アドバイザー認定試験の対策講座として、短期間で効率的な学習をすることができます。茶についての基本的な知識、技能、インストラクション技術を身につけることができ、茶と消費者を結ぶアドバイザーとしての役割を担うことができます。テキスト教材2冊と2回のレポート添削による「通信学習」と、茶の鑑定方法などを講師が直接指導する「実技講習会(1日)」で構成される講座内容です。

4月1日～8月10日
標準学習期間3～4ヵ月

25,000円(税抜)

- テキストI
- 第1章 茶の歴史
 - 第2章 茶の栽培と製造
 - 第3章 茶の利用
 - 第4章 茶の品質審査と鑑定
- テキストII
- 第1章 茶業のあらまし
 - 第2章 茶の化学
 - 第3章 茶の淹れ方
 - 第4章 茶の健康科学
 - 第5章 インストラクション技術

※教材の内容は多少変更する場合があります。
ご了承下さい。

テキストIを学習してレポートIを提出



レポートは添削講師が丁寧に指導して返却します

テキストIIを学習してレポートIIを提出

実技講習会(1日)

茶の鑑定方法などを講師の直接指導により学習できる「実技講習会」です。実技講習会の受講修了は、「日本茶アドバイザー認定試験」の受験資格です。※詳細は、受講中にご連絡致します。

開催時期 9月頃

会場 全国7会場
(札幌、東京、静岡、名古屋、京都、福岡、鹿児島)
その他、受講者の多い地域で開催予定。

在籍期間(4ヵ月)内にレポート2通を提出し、各60点以上に達していること。かつ、実技講習会受講修了で修了証を発行。

日本茶インストラクター講座(中級コース)

このコースは、日本茶インストラクター認定試験の対策講座として、短期間で効率的な学習をすることができます。茶に関する総合的、系統的な学習を目的に開発されているので、茶についての専門的な知識、技能、インストラクション技術を身につけることができます。茶関連企業・団体の社員研修として、また飲料・食品・流通の各分野に携わる方が茶についての専門性をより高める際に活用頂ける講座内容で、テキストは将来も「座右の書」として活用できる専門書です。

4月1日～9月下旬
標準学習期間4～6ヵ月

66,000円(税抜)
鑑定器具不要の場合はお問い合わせください

- テキストI
- 第1章 茶の歴史
 - 第2章 チャの栽培
 - 第3章 茶の製造法
- テキストII
- 第1章 茶の化学
 - 第2章 茶の淹れ方
 - 第3章 茶の健康科学
 - 第4章 茶の利用
- テキストIII
- 第1章 茶業概要
 - 第2章 茶の品質審査と鑑定
 - 第3章 日本茶インストラクターのインストラクション技術

テキストIを学習してレポートIを提出



レポートは添削講師が丁寧に指導して返却します

テキストIIを学習してレポートIIを提出



テキストIIIを学習して
レポートIIIを提出する
課題茶を鑑定する

課題茶の鑑定とはDVD・茶鑑定セットにより、お茶の審査を行うものです。

受付期間

受講料

テキストの内容

学習の流れ

修了基準

在籍期間(6ヵ月)内にレポート3通を提出し、各60点以上で修了証を発行。修了者は申請により「日本茶アドバイザー資格」が取得できます。(最終レポート提出の翌年4月認定)

日本茶アドバイザー養成スクール

このスクールは、自分のペースで学習する通信講座に対し、短期間、通学して講師から直接指導を受け、修了基準をクリアすることにより日本茶アドバイザー資格を得られるものです。興味深いグループ実習を交えながら、日本茶全般にわたる実践的な基本知識を身につけます。

- 開講会場 東京、静岡、京都(予定)
受講期間 2~3ヵ月間のうち、5回。
申込方法 各校の募集要項が決定次第、本会のホームページ(www.nihoncha-inst.com)に掲載いたします。または、電話・FAXにて希望会場の募集要項をご請求下さい。詳細が決定次第ご案内致します。
受講料 64,800円*~71,800**円(予定)
* 教材費、修了試験費を含みます。
** 茶器(急須、茶碗等)を含んだ場合の受講料です。
募集人数 16~40名(最小開講人数は会場により異なります)先着順受付
受講資格 18歳以上
基本的に全日程出席可能な方
(日本茶インストラクター、アドバイザー有資格者は受講できません)
修了基準 ・7科目の内、5科目以上出席すること
(必修科目及び3科目以上欠席された方は修了試験を受けられません)
・欠席した講座は課題レポートを提出すること
・修了試験に合格すること(スクール最終日実施)
資格授与 修了者は日本茶アドバイザーとして認定され、資格が授与されます。

NPO法人日本茶インストラクター協会への入会について (任意)

資格認定後、希望者は日本茶インストラクター協会に登録会員として入会することにより、様々な特典を受けることができます。

会費について

日本茶アドバイザー	日本茶インストラクター
入会金 5,000円	入会金 10,000円
年会費 5,000円	年会費 10,000円

講座と資格のQ&A

Q 日本茶検定と日本茶インストラクター・アドバイザーの違いは?

A 検定…インターネットによる試験。本会では資格と区別しています。茶に関する知識の保有度を試すもので、「日本茶って何だろう?」と思っている人が気軽にチャレンジできるのが「検定」です。

資格…筆記試験のほか、実技(鑑定・インストラクション)が必修の指導者資格です。資格取得後も、研修等により知識のレベルの維持・向上が望まれます。日本茶の知識を得て、周りの人にも教えてあげたいと思う方には「資格」をお勧めします。

Q 日本茶アドバイザー講座と日本茶インストラクター講座の違いは?

A 「日本茶アドバイザー講座」は日本茶の基礎を習得したい方に、「日本茶インストラクター講座」は系統的かつ総合的に日本茶について習得し、日本茶の専門家を目指す方に適した講座内容です。

なお、日本茶インストラクター講座は日本茶アドバイザー講座の内容を含んでいます。

Q 日本茶インストラクターを取得するには、まず日本茶アドバイザーを取得しなければなりませんか?

A [日本茶アドバイザー→日本茶インストラクター]のステップ式ではありませんので、日本茶インストラクターを目指している方は、直接日本茶インストラクター講座を受講されることをお勧めします。

日本茶インストラクター講座は、修了することで日本茶アドバイザー資格を取得できます。

Q 資格取得後は、どのような活動ができますか?

A 日本茶インストラクター協会では、原則的に仕事の斡旋はしていませんが、資格取得後は次のような活動や利用がされています。

- ・日本茶教室の開催
- ・各種学校での講義、実習
- ・海外でのセミナー、文化交流事業
- ・日本茶カフェプロデュース
- ・茶関連イベントでのナビゲーター
- ・TV出演、新聞・雑誌取材対応
- ・ボランティア活動
- ・茶業関係に就職(転職) など

お問い合わせ先

詳細につきましては、ホームページをご覧ください。下記まで資料をご請求下さい。

NPO法人 日本茶インストラクター協会

〒105-0021 東京都港区東新橋2-8-5 東京茶業会館5F

電話受付(土日祝休) 9:30~12:00 13:00~17:00

<http://www.nihoncha-inst.com>

代表・試験 TEL03(3431)6637

教育事務 TEL03(5402)6078

FAX(共通) FAX03(3459)9518

日本茶検定 TEL03(5402)6079